

週間市場レポート (2021年2月22日~2月26日)

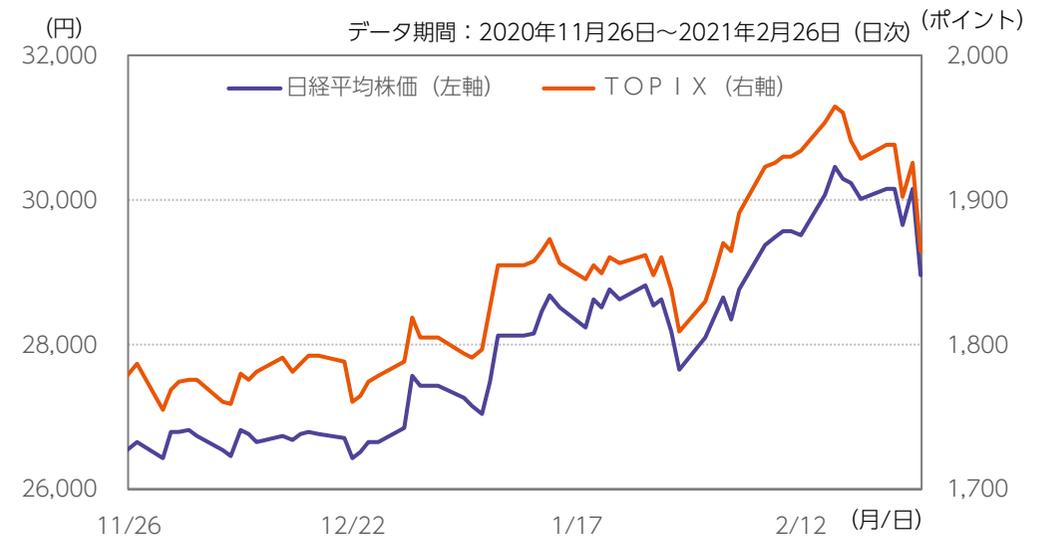
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/2/19	先週末 2021/2/26	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		30,017.92	28,966.01	▲ 3.50 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,928.95	1,864.49	▲ 3.34 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		31,494.32	30,932.37	▲ 1.78 ↓
S&P500種指数		3,906.71	3,811.15	▲ 2.45 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,713.46	3,636.44	▲ 2.07 ↓
S&P/ASX300指数		6,782.17	6,663.94	▲ 1.74 ↓
上海総合指数		3,696.17	3,509.08	▲ 5.06 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,137.29	1,071.08	▲ 5.82 ↓
東証REIT指数		1,939.11	1,929.15	▲ 0.51 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		740.31	731.15	▲ 1.24 ↓
ASX300 REIT 指数		1,338.70	1,340.10	0.10 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		176.80	176.70	▲ 0.05 ↓
日本10年国債 (%)		0.109	0.162	0.053 ↑
米国10年国債 (%)		1.336	1.405	0.069 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.305	▲ 0.260	0.045 ↑
英国10年国債 (%)		0.698	0.820	0.122 ↑
ドル/円		105.45	106.57	1.06 ↑
ユーロ/円		127.79	128.67	0.69 ↑
英ポンド/円		147.75	148.40	0.44 ↑
豪ドル/円		82.98	82.13	▲ 1.03 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,223.46	3,067.63	▲ 4.83 ↓
WTI原油先物 (ドル)		59.24	61.50	3.81 ↑
CRB指数		188.62	190.43	0.96 ↑
アレリアンMLP指数		915.71	926.58	1.19 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で大幅下落となりました。週初は、新型コロナウイルスのワクチン普及により、国内景気が回復に向かうとの期待などから景気敏感株を中心に買われ、4営業日ぶりに上昇しました。その後も、米国株式市場が大幅上昇した流れを受け、上昇する場面もあったものの、週末は、バイデン米政権が準備する大型の追加経済対策による景気回復期待から米長期金利が一時大幅に上昇し、米国株式市場が下落した流れを受け大幅下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。
日銀が3月に公表予定の金融政策の点検結果で、許容する長期金利の変動幅を拡大させるとの思惑や、米国景気の早期回復期待などから米長期金利が上昇している流れを受け、週を通じて上昇となりました。週末に、一時0.175%と、およそ5年1カ月ぶりの高い水準をつけました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。
米国景気の早期回復が期待される中、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言で、緩和的な金融政策が継続されることが再確認されたことなどから、週央まで3日連続で上昇しました。週末にかけては、米長期金利が一時1.61%まで上昇したことなどが嫌気され下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
米国の大規模な追加経済対策による国債増発観測や米国景気が早期に回復するとの期待などから米長期金利が上昇し、週を通じて、日米の金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン普及や、米国の大規模な経済対策により景気が早期に回復するとの期待などから週初は上昇となったものの、週末にかけて、米長期金利の上昇が嫌気され、大幅下落となりました。

新型コロナウイルスのワクチン普及などによる新規感染者数の減少と、国債増発懸念などから、米長期金利は2月に入り上昇基調を強めています。パウエルFRB議長は、足元の金利上昇は経済成長への市場の期待の表れだとし、当面は静観するとともに、改めて金融緩和姿勢の継続を強調したものの、金利上昇は欧州や日本にも波及しており、市場では警戒感が強まっています。
今週の日米株式市場は、米長期金利の動向をにらみながら、不安定な値動きとなるものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>